



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2115号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2178回例会

2017.9.21晴

司 会

鈴木郁夫君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

皆さんこんにちは。この3連休に大型台風18号が日本列島を縦断して各地に災害の爪痕を残しました。テレビでは被災地の状況や交通機関の運休や欠航、イベントや旅行の中止等台風関連のニュースを連日放映していました。被災者には申し訳ありませんが、静岡県は台風の進路からはずれて幸いでした。連休の最終日には、台風の強風と入れ替わりに衆議院解散の風が吹き荒れました。

さて、今年の5月29日から全国の法務局(登記所)で法定相続情報証明制度の運用が開始されました。まだ馴染みの少ない制度ですが簡単に言うと、死亡した人の法定相続人は誰と誰なのかを、法務局が偽造防止を施したA4サイズの紙に無料で証明してくれる制度です。相続で面倒なのは、法定相続人の確認です。亡くなった人の戸籍を生まれた頃から死亡に至る間の戸籍謄本を全部調べます。今までの相続手続きでは、戸籍謄本の束を法務局や金融機関に何度も提出する必要がありましたが、新制度では一度法務局に戸籍を提出して、法務局から「法定相続情報証明書」を発行してもらえると、不動産の名義変更、金融機関の預貯金、証券会社や保険会社の名義変更や解約に戸籍の添付が不要になります。また「法定相続証明情報」は5年間複数枚の発行も可能です。発行してくれる法務局の管轄は、亡くなった方の本籍地、最後の住所地、不動産の所在地や相続人の住所地でも可能です。相続の手続きが簡素化できますので、行政はこの制度をもっとアピールして欲しいです。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	30/37	81.08%	32/37	86.49%
今回	34/40	85.00%	会員総数	45名

欠席者 赤池君、花房君、原君、藤江君、古屋君、前田(博)君

スマイルボックス

- ◆伊丹君、いつまでもお暑うございます。当社のゴルフコンペやじきた会で大変申し訳ないのですがFAXの番号違いがありましてFAXで申し込みの方は私に連絡下さい。正しい番号は055-975-5906です。間違った番号は975-5909でして、マッサージの家の番号を打ってしまいました。開催日は10月29日です。
- ◆佐々木君、結婚祝ありがとうございます。
- ◆佐々木君、伊丹さん、ありがとうございます。
- ◆野田君、昨日、入管よりベトナム人2人(エンジニア職)の入国許可証が届きました。初めてのベトナムです。期待外れにならないことを祈るのみ。
- ◆栗原君、ごめんなさい。早退します。

幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ①本日の卓話 前田邦彦さん
- ②9月16日(土)米山梅吉記念館で秋季例祭が行われました。
- ③来月のプログラム予定表を配布しました。当初の予定と変更箇所がございます。お間違えの無いようご注意ください。

2017~2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー:変化をもたらす

おめでとう

会員誕生日 長田君
入会記念日 矢岸君

卓 話

自己紹介と生い立ち

前田邦彦君

1-1. 出生

1969年7月20日生まれ(昭和44年)の御年48歳となります。

～当時の出来事～

- ・私の生まれた日にアポロ11号が人類初の月面有人着陸を果たす。
- ・1月:東大安田講堂攻防戦が繰り広げられ600名以上の逮捕者が出て東京大学の入試が中止となった。
- ・2月:日本専売公社(現JT)がチャコールフィルターを採用したタバコとして日本初となる「セブンスター」を発売。
- ・4月:東海道新幹線の「三島駅」が開業。
- ・5月:東名高速道路が全区間開通(全線開通は昭和46年)
- ・6月:コンドームの自動販売機が登場。大阪市、高槻市、豊中市に設置。
- ・8月:TBS系列で「水戸黄門」放送開始
- ・10月:TBS系列でザ・ドリフターズの「8時だよ全員集合」が放送開始
- ・10月:フジテレビ系で「サザエさん」が放送開始。
- ・11月:日産自動車が「フェアレディZ」を発売。
- ・11月:日本銀行が500円札を発行。
- ・11月:佐藤栄作首相が訪米し3年後の沖縄返還合意を取り付ける。
- ・12月:住友銀行(現三井住友銀行)が日本初の現金自動支払機(ATM)を東京新宿支店と大阪梅田支店に設置。

1-2. 家族構成

ひとつ年上の妻、現在17歳、高校3年生の長女と14歳、中学2年生の長男の4人家族である。因みに妻とは同じ支店に勤務していたことが契機でお付き合いが始まり夫婦となる。いわゆる職場結婚です。長女につきましては、年少のころから音楽に触れてきて、先週、沼津市民文化センターで高校生最後の演奏会がありました。長男につきましては、谷田木材の窪田さんも所属していた清水FCに入り毎日ボールを追っかけています。

1-3. 幼少時代

小学校3年生から小学校のサッカースポーツ少年団に入りサッカーと出会いました。毎日学校のグラウンドで泥だらけになりながらボールを追っていました。やりすぎは良くないので小学校を卒業するころには今で言う「燃え尽き症候群」となりあんなに大好きであったサッカーを中学で続けることはありませんでした。

1-4. 学生時代

【高校】

中学時代はサッカー部に籍を置いていなかった為、入部はできましたが、中学でサッカーをしていない私は喜ばれませんでした。

した。マネージャー的な仕事を与えられたり、ボール拾いに終始しているような状況が続きました。認めてもらうのには時間がかかりました。チャンスが与えられない、見てもらえない、仲間に信頼されてないのでボールが回ってこない。誰よりも早くグラウンドに出て誰よりも遅くまでグラウンドに居る日々が続きました。この時に認めてもらうこと、信頼されることの大変さを痛感しました。また自分で選んだ道を貫き通すことの苦しさも同時に教えてもらいました。

【大学】

学生時代では大学時代の4年間で一番私を成長させてくれた期間でした。部員は1学年40名程度の総勢約140名、カテゴリーは1軍から5軍まで。レギュラーで出場できる率は7.8%。1軍登録は25人程度なので2割に満たない状況でした。肩書無い私は無論5軍スタートでした。5軍まで棲み分けされた組織でしたが、実態は1,2軍以外はその他大勢といった感じでした。その「その他大勢」の枠に入るとモチベーションの低下した諸先輩から様々な誘惑や嫌がらせなどがありました。私もご多聞に漏れず先輩たちの誘惑を受け、安きに流れ自分を見失い「その他大勢」の一員となっていました。そんな生活を送っていた時に同期が不慮の事故で亡くなりました。彼は私と一緒に高校でお互いサッカー推薦で一緒に入学した無二の親友でした。振り返るとその事象が私の人生の転機であったと思っています。「サッカー」で報いるしかないと考え直してから5軍の私を周りの方々が押し上げてくれ最終的にはレギュラーで試合に使ってもらえるまでになりました。このような経験ができたことが今の自分に繋がっていると思っていますし、当時の仲間は私の一生の友であります。

横道に逸れますが

・日本がワールドカップに初出場したのは1998年(平成10年)のことですが、その日本代表のメンバーに秋田豊というディフェンダーの選手がいました。彼は私の1学年下の後輩で3年間一緒に苦楽を共にしました。彼からも非常に大きな影響を受けました。その後における彼の私生活やサッカーに取り組む姿勢は全選手がお手本とするところでした。

～学生時代を総括しますと～

サッカーというスポーツを通じて、挫折を何度も味わい、なんとか乗り越えられた経験を、悔しさと失望感を底から這い上がるエネルギーに変えられる力がサッカーを通じて備わったと考えています。また、一日一日の努力を怠らず、一瞬一瞬を真剣に生きる日々を積み重ねていけば道はいずれ開けると信じている。多くの人の人生において、成功と失敗は何度も訪れるものだと思います。成功した時におごるかおごらないか、失敗した時にあきらめるかあきらめないかでその後に大きな差が出るとしています。成功を味わった時こそ引き締め、苦杯をなめた時こそ思い切り踏ん張る。私は成功を自信に変え、失敗を前進するための力に変える大切さをこれまでのサッカー人生の中で学んできました。

以上が私の生い立ちを含めた自己紹介となります。

田舎に生まれ、自然と戯れ、サッカーボールと出会い、色々な方々に指導をいただき、金融という職業につき、日々お客様と向き合い、今に至っております。この5月からは、三島西ロータリークラブに入会させていただき、可愛がっていただいていること、今こうして皆様の前で話を聞いていただけたことを大変感謝しております。諸先輩方から見ればまだまだであると思いますが、皆様に可愛がってもらえるよう努力して参ります。何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

(週報担当:相山 豊)